

(様式3)

## 令和2年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	伊勢市障がい児放課後等支援施設 フレンズ	所在地	伊勢市御園町長屋2767
指定管理者名	認定NPO法人ときわ会 藍ちゃんの家	指定期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日
設置目的	障がい児または障がい者の日中活動の場の提供		
業務内容	【伊勢市障がい児放課後等支援施設フレンズの管理業務を行う】 ・伊勢市内に住所を有し、小中学校または三重県内の特別支援学校に在籍する障がい児、または障がい者に対し、日中活動の場を提供するとともに、家族等の介護負担の軽減を図る。 ・日中活動の場を提供するなかで、他の障がい児、障がい者、支援員等と交流することで、障がい児の健全育成に資するよう努める。		
施設概要	ハートプラザみその1階 (療育室、静養室、便所 延床面積:112.5㎡)		
職員体制	管理者1名、支援員7名、運転手1名		
施設所管課名	高齢・障がい福祉課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料		5,603,000	5,603,000	
		利用料金		5,868,670	5,868,670	
		その他		101,819	101,819	
		計(a)	0	0	11,573,489	11,573,489
	支出	人件費			9,287,531	9,287,531
		管理運営費			1,919,411	1,919,411
		その他			381,889	381,889
		計(b)	0	0	11,588,831	11,588,831
	収支差引額(a)-(b)		0	0	△ 15,342	△ 15,342

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	* 令和2年度より、指定管理業務を開始
----------------------------------	---------------------

### 3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
事業計画に添った管理業務を行った。 前年度までは小俣保健センターにて委託業務としてフレンズを運営していたが、令和2年4月から指定管理者として業務を開始した。所在地もハートプラザみそのへ移転し、子どもたちにとって新しい居場所が過ごしやすいものになるよう、環境づくりに取り組んだ。 新型コロナウイルス感染防止対策として、設備の消毒や適切な換気などを日々行った。 本年度より、自宅送りサービスを開始。利用者の皆様からも好評でほとんどの方が利用されている。それもあってか年度途中での新規利用の増加もあった。 日々の日中活動の中で、様々な制作・行事・レクリエーションの提供を通じて、利用者が楽しく過ごせる時間を提供した。	施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。また、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、年度途中での新規利用者の増加があったことは評価できる。 今後も、利用者及び家族のニーズに則した事業展開を心がけ、障がい児の福祉増進に努めてもらいたい。

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名 伊勢市障がい児放課後等支援施設 フレンズ

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針を十分理解し、管理運営に努めた。		
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通して、障がい児または障がい者へ日中活動の場を提供し、健全育成に資することができた。	A	管理運営を通して、障がい児または障がい者へ日中活動の場を提供し、健全育成に資することができた。		
	③利用者数	A	年度内に利用登録者数が増加し、一人当たりの利用回数も増加した。	A	利用者数は増加しており、目標は達成されている。		
	④運営状況	A	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営が実施された。		
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務担当者を設定し、適正な配置・勤務が取れた。	A	職員の配置状況、勤務実績は適正であった。
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	毎月の業務報告、また市の担当者と適宜打ち合わせを行い、意思疎通を行った。	A	運営業務全般において、伊勢市と協議しながら業務を遂行された。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	点検記録、修繕記録等、各種整備・保管が適正に行われている。	A	点検記録、修繕記録等、各種整備・保管が適正に行われている。
	⑧地域の振興	B	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	コロナ禍であり、年2回予定していた保護者参加型の行事は1回しか実施できなかった。	B	新型コロナウイルス感染防止のため、目標達成には至らなかった。
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱は個人情報の点からも適正、慎重に行った。	A	使用許可等申請の取扱いは、適正に行われた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿は漏れなく作成を行った。	A	帳簿は漏れなく適正に作成されていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱いについては、適切に行った。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、個人情報は適切に取扱いされていた。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられない。

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名 伊勢市障がい児放課後等支援施設 フレンズ

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	B	ホームページは適切に作成したものの、頻繁な更新を行わなかった。次年度の課題とする。	B	今後の検討課題である。
	②利用者の平等な利用	A	情報共有ノートを活用し、スタッフ間で情報共有するとともに、月1回のミーティングで利用者の支援や行事について話し合った。	A	期待されるサービス水準を達成していた。
	③適切な情報提供	A	適宜、各利用者に文書にて情報の提供を行った。	A	適正な利用情報の提供が実施されていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルを整備し、利用者も含めた避難訓練を2回行った。また、保護者向けに災害伝言ダイヤルの体験も実施した。	A	緊急時マニュアルの整備、利用者も含めた避難訓練の実施など、適切に実施されていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	B	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	B	今回の対応を教訓にして、次年度の事業運営の糧としてもらいたい。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	利用者それぞれにあわせた支援を行うために、様々なプログラムの提示・提供を行った。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	月次、年次業務報告書を適切に作成、それらを元に次年度への課題を掲げ、次年度の事業へつなげている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	定期的に施設の安全点検を行い記録にまとめている。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品について丁寧に扱い、破損や紛失等はなかった。
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに伊勢市に報告を行った。またそれらを記録した。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	日々の清掃、週末の清掃、大掃除など事前に立てた予定どおり清掃を行った。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	退勤時には当番を決めて戸締りを行った。今年度中は防犯に関する問題はなかった。